

信 愛 望

山形学院だより

第10号(51号)

2020. 3. 17

文責・佐藤圭



山形学院高等学校

明日から、春休みに入ります

新型コロナウイルス感染に気をつけて生活しましょう

新型コロナウイルス感染症の影響で、今年の卒業式は、卒業生・保護者・教員のみで行い、時間短縮のため卒業証書は一人ひとりに手渡しから各科総代へ、来賓・祝辞はなしで行われました。卒業式での北垣俊一校長の式辞を裏面に掲載しましたのでご覧ください。1・2年生は期末考査の4日間のみ登校し、その後16日まで臨時休校となり、部活動の自粛も行なわれています。入学ガイダンスも時間短縮と新入生の健康面に配慮し、保護者のみで実施することになりました。新型コロナウイルス感染症は、発熱やのどの痛み、咳が長引くことが多く、強いだるさを訴える方が多いことが特徴です。これから春休みに入りますが、日常生活で気を付けて過ごして欲しいと思います。

【今後の主な予定】

- ◎ 2019年度修了式
3月17日(火)
- ◎ 春季休業
3月18日(水)～4月7日(火)
- ◎ 2020年度始業式・入学式
4月8日(水)
- ◎ 生徒会入会式・学年集会・HR・部活紹介
4月9日(木)
- ◎ 身体測定・証明写真撮影
4月10日(金)
- ◎ 授業開始
4月13日(月)～

＜新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために＞

◇換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。
◇外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

※【今後の主な予定】が新型コロナウイルス感染症関係で変更になる場合は、本校ホームページ上でお知らせします。

☆進路状況について☆ 進路指導部まとめ <2020.3.16現在>

進路	種別	総合普通科 (140名)	情報創造科 (34名)	食物調理科 (80名)	在籍 (254名)
進学	大学	35	0	1	36
	短大	11	0	4	15
	専門	54	13	12	79
就職	学校紹介	33	20	59	112
	公務員	1	0	1	2
	縁故	3	0	3	6
	家事	3	0	0	3
未内定(進学・就職)		0(0・0)	1(0・1)	0(0・0)	1(0・1)
内定		140	33	80	253



進学内定率

100.0%

就職内定率

99.1%

第72回卒業証書授式が挙行されました（校長式辞より）

本日、山形学院高等学校は第72回卒業証書授与式を迎えました。

今年の冬は雪がすこしは降りましたが、私たちの周りの家々、道路には積雪の姿が見られないまま、春の季節を迎えようとしています。しかし2月初めから中国から発した新型コロナウイルスの感染が、日日本国内の各地に広がり、今日本全体が危険な状態の中にあります。

学校も休校にしなければなりません。学校にとって大事な卒業式をこれまでのように行うことができません。誠に残念な事態です。

本校も生徒・保護者・教職員だけ、そして時間も短くしての卒業証書授与式になりました。しかし父なる神様の祝福の下で山形学院の歴史と伝統に基づいて、卒業証書授与式を粛々と進めていきたいと思えます。

254名の生徒の栄えある卒業証書授与の日です。卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業を心からお慶び申し上げます。

本校創立111周年の年の卒業式、そして皆さんは「令和の最初の卒業生」になります。この卒業式は、これからの皆さんの長い人生に深く記憶されるものになるだろうと思えます。

卒業生の皆さん、あなたがたは今、本校での3年間の高校生活の証としての「卒業証書」を手に入れました。その卒業証書には皆さん一人ひとりが総合普通科、情報創造科、食物調理科での勉学で修得した知識、取得した資格、部活動等で培った様々な力の結晶が刻まれています。

254名の卒業生の皆さんはそれぞれに自分に与えられた良き賜物、能力を活かして充実した学校生活を送りました。勉学はもとより、生徒会、運動部、文化部の活動に取り組み、県大会、全国大会に出場し、本校の存在を示された方々、いろいろな分野での活動を通して皆さんの持てる力と頑張りの姿を見せてくれました。『生徒とともに生き、学び、成長する=生徒一人ひとりを大切にする』ことを共通目標としてきたわたしたち教職員も、皆さんの晴れ姿に大きな喜びを味うものです。皆さんの努力、活躍に心から敬意を表し、感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、あなたがたが、今日栄えある卒業の時を迎えることができたのは、皆さんを支えてこられた方々のお陰です。3年間、皆さんの学校生活、毎日の通学を支えて下さってお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、ご兄弟、ご親戚の方々がおられます。そのことを覚えて今一度、「ありがとう」と感謝の思いを持っていただきたいと思えます。

新しい旅立ちにあたり、皆さんにいくつかのことを申し上げます。

第一に、皆さんは「キリスト教学校」である山形学院で学びました。皆さんが学んだようにキリスト教、聖書の教えの中心は「愛」です。その「愛」は「自分を愛するように隣人を愛する」愛です。今の世の中はとかく、「自分さえ良ければ、人のことなどはどうでもよい」「自分が幸せであればそれでよい」という自分中心的な考え方や生き方が強いように思われます。本校で教えられ、導かれた「愛」や「思いやり」の心を持って自分の幸せを考えると同時に、自分以外の他者の幸せをも考えていける人間として歩んでいただきたいと願います。

第二に、皆さんは、それぞれに新しい進路に進みます。就職して実社会に出ていく方々、専門学校、大学で学ぶ方々、それぞれの進路は異なります。皆さんの人生はこれからです。将来、実社会で自分に与えられた能力や可能性を活かし、有能な人材になるためには、本校で身につけた学力、人間力、社会力を土台にこれからも学び続けていくことが必要です。自分に与えられた能力を鍛え、自分を活かすために「学び」を大切に、学び続けてください。自分に挑戦し続けてください。【生涯学習】の気持ちを持ち続けられることを願うものです。

第三に、人は、誰でも自分に与えられた一回限りの人生を、自分の力で歩まなければなりません。

皆さんの前途にはいろいろな困難が待ち受けていると思えます。

しかし自分で考え、選択し、自分の力で問題を解決しつつ、与えられた人生をより豊かな、充実したものとして生きていくことを求め続けてください。未来に向けて自分の「夢」や「志」をしっかりと持って、それを実現していくために自分自身に果敢に挑戦していく勇氣を持っていただきたいと思えます。世の中の動きを冷静に見つめ、善悪の判断をきちんとし、自分の生き方を整えていくことが大事です。

将来、それぞれの分野で、一人ひとりが社会の有用な人材となられるよう願うものです。

皆さん一人ひとりの前途に神様の豊かな祝福を祈ります。

理事長・校長 北垣 俊一